

森のおくりもの11月



キタテハ（タテハチョウ科）



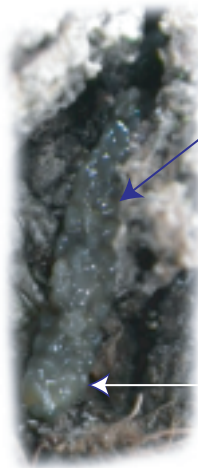
もうすぐ紅葉の見ごろを迎える森では、昆虫の姿を目にすることが少なくなりました。それでも、暖かい日には陽だまりでチョウやトンボを見かけることがあります。これから約5か月もの間、成虫の姿で冬の寒さや乾燥に耐えていくのです。「また春に会おうね」と声をかけてしまいます。その一方では、彼らを必死で探している小鳥たちを見かけても応援したくなります。冬間近の森では生き物たちのつながりを意識させられます。 【写真・文 早坂 徹】

栄養ドリンク付(?)の卵塊

クヌギカメムシの仲間



11月になると、クヌギカメムシの仲間をコナラやクヌギなどの幹で見かけるようになります。お腹の大きなものはメスで、卵は樹幹の隙間に産み付けられ、緑色でゼリー状です。この卵塊、以前はよく見かけたのですが、昨年あたりから、少なくなったように思われます。ナラ枯れが関係しているのでしょうか、少し気になるところです。



実は、このゼリー、幼虫のエサになるのですが、ただのエサではありません。2月頃孵化した幼虫が3令になるまで約1か月間このゼリーのみで成長します。しかも、成長するのに必要な栄養分だけではなく、春になって植物の汁を餌とする為に必要な共生細菌も含まれている、とても優れたゼリーなのです。

ヘラクヌギ
カメムシ



■オス
約11mm

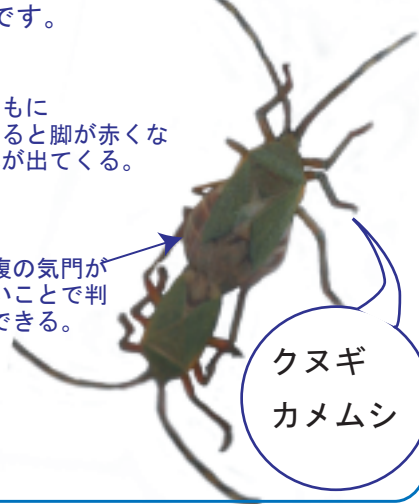
臭腺

■メス
約13mm

両種ともに
秋になると脚が赤くな
る個体が出てくる。

お腹の気門が
黒いことで判
別できる。

クヌギ
カメムシ



こんなに寒いエサの無い時期にどうして孵化してしまうのか疑問でしたが、ちゃんとお母さんが優れたエサを用意しておいてくれるのですね。天敵の少ない時期に(非力な)か弱い時期をやり過ごし、ある程度大きくなって春には栄養豊富な新芽を餌にする。こんな生き方もあるのですね。

【レンジャー:黒川周子】

* ナナカマドにもゼリー状の卵塊が見つかりますが、これはナシカメムシです。同じように寒い時期に孵化してゼリーを食べ幼虫の姿で冬を越します。

11月の生物ごよみ

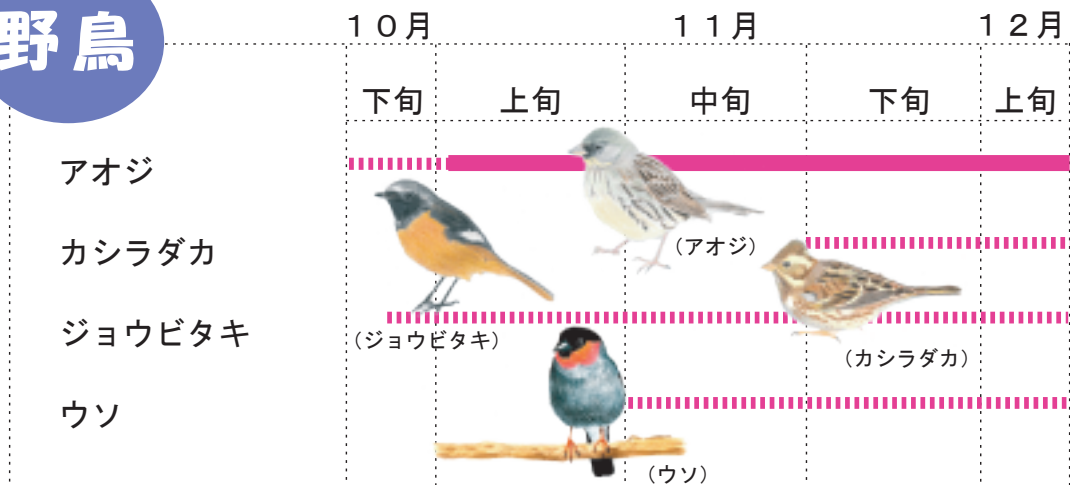
【植物】 久しぶりに晴れた10月の朝、いこいの道でリンドウの花がひっそりと寂し気に咲いているのを見つけました。秋に開花するリンドウやキッコウハグマが咲き終わると、一年の花ごよみも終わります。それと同時に木々は色づき始め、例年ですと11月初旬から中旬にかけてが紅葉の見ごろになります。

【野鳥】 冬鳥の知らせも少しずつ入り、10月24日にはアトリ、26日の朝にはセンター裏の藪でアオジを確認。その他、周辺でもいろいろな冬鳥の確認情報が聞こえてきます。

【キノコ】 秋のキノコ情報があまり入らず、今年は例年に比べ、とても少ないように感じます。秋のキノコがたくさん出る条件は、夏が暑く秋に適度に雨が降る。そのような年は豊作が期待できるとのこと。今年を振り返れば夏には長雨が続き気づけば秋になっていた。そんな年でしたね。

【ドングリ】 今年のドングリは豊作のようで、森に沢山実りました。しかしドングリの木であるコナラやミズナラが『ナラ枯れ』により一気に枯れてしまいました。『ナラ枯れ』とはシイ・ナラ・カシなどのブナ科の樹木が枯れる森林被害です。枯れる原因は病原菌のまん延によるもので、その病原菌を媒介するのがカシノナガキクイムシという小さな甲虫です。いろいろな情報誌を読むとナラ枯れは太い樹木から枯れるそうです。しかし実際観察の森周辺を見てみると、細いコナラも枯れてしまったり、逆に太いものは枯れずに頑張っていたりといった状況でした。今後どのように森が変わっていくのでしょうか。数年で落ち着くのか、ドングリの木の絶対数が減ってしまうのか、ナラ枯れを含め、観察の森の変化への対応はまだまだ模索中です。

野鳥



【レンジャー：齋 正宏】



レンジャーの森の雑記帳



観察センター裏の笹川に架かる橋の上から見下ろす川面には、まるで沈殿する魂のように落ち葉が川底に幾重にも積もり、冷たい水の中で揺らいでいる。水面には晩秋の透き通った空が漂っていた。暗色な色彩の川で色鮮やかな紅を纏った葉が、ひととき艶やかに目に映る。不意に自宅の庭を眺めながら齢九十歳を過ぎた母が独り言のように呟いたことを思い出した。「来年は紅葉が見れるかどうか分からないからちゃんと見ておこう・・・」それは何らかの予感なのかもしれないし、冗談半分かもしれないが、まるでひとつの決意の様にも聞こえ、止められない川の流れるような気持ちになったが、秋はそれほどのおもしろさもきっと秘めていると思う。以前、笹川の黒い川底に積もった赤や黄色の色とりどりの枯葉が、緩やかに下流に向かって流れていく様子を見て、その色彩の見事さに思わず立ちすくんだことがある。川のなかで流れに身をまかせ音も無く運ばれていく枯葉は人々の雑踏のようにも、無数の人の生き様のようにも見えたし、緩やかな澄んだ水流は時の流れのようにも見えた。だから橋の上から見た水の中の紅い葉は一つの命のように鮮やかに感じたのかもしれない。葉であれ人であれ永遠の命はありえないが、出来うる限りの紅葉をもしまた見せてあげられることができれば私の役割も終え、時間という水流に身を委ねることができるのかもしれない。笹川の底を覗きこみ一瞬そんなことを考え、いつものコースで巡回に戻ることにした。

【レンジャー：阿部正明】



季節を感じて楽しむ

森の七十二候

第8回



太白山と観察の森の紅葉は、11月が最も見頃です。10月のヤマザクラからはじまりヤマウルシ、ヌルデと続きいよいよカエデの出番です。

ツタ（ここではつる性植物）ではオニドコロやヤマノイモの葉が黄色になりました。ツタウルシも赤くなるのでしょう。

紅葉がきれいになる条件は3つあります。

1. 1日の気温の寒暖差が大きいこと
2. 日当たりが良いこと
3. 土壌が適度に乾いていること

今年は夏の長雨、10月の台風と天候不順が続きましたので、11月はすっきり秋晴れの紅葉狩りに期待が膨らみますね。

楓

もみじ

蔦

つた

黄

きばむ

11月2日から
5日ごろ

観察の森にはカエデの仲間の樹木がいくつかあります。尾根道を歩いてよく見かけるのは、ハウチワカエデ、コハウチワカエデ、ウリハダカエデ、ヤマモミジです。センター付近にはイロハモミジやイタヤカエデもあります。

カエデやモミジの葉は手のひらを広げたような形をしているイメージですが、そうでない葉をもつカエデの仲間もあります。観察の森で見られるものとしては、メグスリノキ、チドリノキ、ウリハダカエデなどです。（写真参照）どれも葉の形は違えど紅葉も美しく立派なカエデの仲間です。



メグスリノキ



チドリノキ



ウリハダカエデ

【レンジャー：遠藤和子】



11月のイベント & お知らせ



◆森で遊ぼう！『小さな野草教室』

・未就学児向けの草花遊びを中心とした自然観察会です。

【日 時】平成29年11月11日（土）10：00～11：30

【定 員】15名（未就学児とその保護者）

【持ち物】歩きやすい服装、雨具（カッパ）

【申込み】11月7日（日）9：00～電話で〔先着〕



◆『紅葉の蕃山を歩こう』

・秋の蕃山を、講師のお話を聞きながらゆっくり歩きます。

【日 時】平成29年11月18日（土）9：30～15：30

【定 員】20名

【持ち物】歩きやすい服装と靴、昼食、飲み物、
敷物、雨具（カッパ）

【申込み】11月8日（水）9：00～電話で〔先着〕



◆『館長と森を歩こう』

・館長と一緒に秋深まる森を歩き、いろいろな動植物と触れ合います。

【日 時】平成29年11月26日（日）10：00～11：30

【持ち物】歩きやすい服装、雨具（カッパ）

【申込み】不要



ヤマツツジの丘からヨシの湿地へ通じる橋が老朽化のため、しばらくの間通行止めになります。

11月の休館日

6日、13日、20日、27日

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日！

開催日：5日、12日、19日、26日

開催時間：午前 10:00～11:30

午後 13:30～15:00

今月のテーマは

『森と野鳥たち』



森のちいさな アトリエ

準備してある材料を使って、
誰でも自由にクラフトが作れます。

今月は
落ち葉の年賀状



♪森へおいでください♪



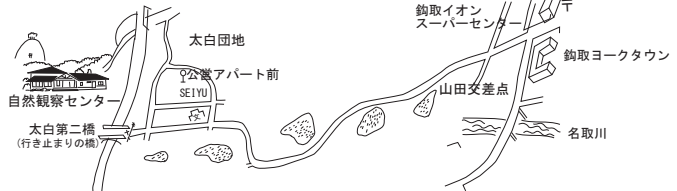
宮城交通バスの場合

- | | | |
|------------|-------|-----------|
| ① 仙台駅 | 7番のりば | 乗車時間 約40分 |
| ② 長町駅東口 | 3番のりば | 乗車時間 約30分 |
| ③ 八木山動物公園駅 | 6番のりば | 乗車時間 約10分 |
- 【先行】①②③「太白団地経由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
（※③のみ乗車可「太白団地・山田自由ヶ丘経由山台南ニュータウン行」）
いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」
バックナンバーはWebでチェック！

2017年11月号（毎月1回5日発行）

発行：（公財）仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel：022-244-6115 FAX：022-244-6133

E-mail：taihakan_moushikomi@sendai-green-association.jp

「社のひろば」URL：<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakan/index.html>